

素 そしん 心

令和5年11月30日(木)発行第8号
〒031-0841 八戸市鯨町古馬屋23-5
TEL 33-0727 FAX 32-1132



学校ブログ
「飛 鷗」

本心。いつわりのない心。かざらない心。 教育目標 「ともに生きる・ともに学ぶ」

「夢」を見る？ 追う？ みつける？

校長 富樫 克輝

教員に限らず多くの大人は、子どもに対して「夢は何？、将来やりたい仕事は何？」という問いかけをします。その子が幼い時であれば、どんな答えが返ってきてもにこにこ微笑んで受け止めているでしょう。しかし、子どもが年齢を重ねるにつれて、問う側の大人の受け止め方や返す言葉が、逆に「夢」から遠ざかってきている、子ども自身も夢を思い描きにくい状況になってきているとも思っています。

昨今、様々な講演会や著述で次のような一節を目にすることも多くなりました。

将来、今の子どもたちが大人になる頃には A I (人工知能) の進歩により半分以上の職業が消滅し、この子たちは、現在存在していない仕事に就いているだろう。

八戸市内の全小中学校では、生徒1人に1台ずつ情報端末を持たせ、今以上に高度化するであろう新しい情報社会にも対応できる人材を育成することを旨として教育活動を進めています。先の言説が「A I に指示されるのではなく A I を使いこなす能力が将来の人間には必要」という啓発の意味であれば前向きな感じがします。

しかし、この文言が語られる場面で「A I や機械にとって代わられるような作業や職業は将来なくなるのだから見切りをつけて、スマートで創造的な仕事を志向せよ」とか、「将来の花形職業はどうなるかわからない。だから今のところはコミュニケーションと I C T のスキルを磨いておいて

損はない」的な物言いが前面に出たならば、そこからは子どもたちの「夢や憧れ」は広がりにくいでしょう。

子どもたちが心から憧れる、目指したい、成し遂げたい、乗り越えたい、そう思わせる夢となりうるものは仮想空間で笑っている成功者ではなく自分の仕事に誇りをもって打ち込み、課題や困難に抗って、それでも飄々と頑張っている、そう瞳に映る今現在の「大人」というモデルです。

A I 時代には将来性が低いとみなされそうな既存の業種であっても、その仕事、関わる職業人に心底惚れ抜いて飛び込んで、業界に新風を吹かせるような、あっと驚く事業革新を成し遂げる人材が現在の子どもの中から現れることは大いにありえます。たとえ夢破れても、その土性骨なら違う道や場所できっと花を咲かせるはずです。

夢に向かって最短ルートで一直線が良い人生とは言いきれません。生涯の節目節目にその時の自分の目で見て感じて、心が動き、決心して踏み込んだ世界。もがきながら歩んだその先にこそはつきりとした輪郭の夢が見えてくる。「自分にもできそうなもの」を選ぶのではなく、やってみたら自分にできることはたくさんある。おもしろみややりがいがあるものが後から追いついてくるものもある。

失敗したらどうしよう、どうせやっても無理、ではなく、一歩踏み出して挑戦。続けてみる。

最近、聞く機会が減っている「我武者羅」(がむしゃら)という言葉が、今こそ大切な時だと思っています。



12月の予定 < 鮫中学校 >

1	金		16	土	参観日 (10:30~11:55)
2	土	数学検定	17	日	
3	日		18	月	振替休 (16日)
4	月	三者面談週間~12/8	19	火	
5	火	スリッパ持参を お願いします。	20	水	
6	水		21	木	
7	木		22	金	2学期終業式
8	金		23	土	
9	土	アンサンブルコンテスト八戸大会	24	日	冬季休業~1/14
10	日		25	月	
11	月		26	火	学校の図書室に新しい本 がたくさん入荷していま す。冬休み中の読書によ って新しい楽しみをみつ けられるといいですね。
12	火		27	水	
13	水		28	木	
14	木	ネット情報モラルに関する講演会	29	金	
15	金	基礎学力テスト (理科)	30	土	
			31	日	



欠席連絡アプリ「テトル」の加入率が上がりました。加入家庭には学校からの配布物の一部はテトル経由でも送付しています。



健康教育実践研究校

青森県の「いきいき青森っ子健康づくり事業」。

鮫中学校は令和5~6年度、研究校の指定を受けています。



保健委員会による発表



1学年「食事と栄養に関する授業」

10月は「歯と健康」、11月は「いのちを育む」や「生活習慣病予防」の講演会。保健委員会による発表。栄養教諭さんを講師に食事と栄養に関する家庭科授業を実施しました。

鮫神楽鑑賞会

11月2日、本校体育館で「鮫神楽鑑賞会」が行われました。

鮫神楽伝承会には鮫中学校の在校生も卒業生も参加しています。



保存会会長の根谷伸夫さんから解説や紹介をいただきながら、5つの演目が披露されました。きらびやかな衣装をまとい、キリリとした表情と所作の仲間たちの姿にも驚きました。

2学期の「通信表」には担任の所見欄がありません。今学期を振り返ってのお子さんの学校での頑張りについては、三者面談の場でお話しします。また、ご家庭での様子などもお話しください。